

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 311 号	氏名	草場 麻里子
学位審査委員	主査	永安 武	
	副査	下川 功	
	副査	宮崎 泰司	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、STAT3 の恒常的活性化を阻害することで、ヒト肝癌細胞に対する抗腫瘍効果が増強されることを証明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 本研究ではヒト肝癌細胞株を用いて、STAT3 リン酸化の有無や JAK2 特異的阻害剤である AG490 がアポトーシス関連蛋白に及ぼす影響を western blot 等で評価した。さらに AG490 が肝癌細胞の TRAIL 誘導アポトーシスへの感受性を高めるかを in vitro と in vivo の両方で検討した。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、AG490 が肝癌細胞の STAT3 恒常的活性化を阻害することで、TRAIL の抗腫瘍活性が増強されることが明らかとなった。このことより JAK/STAT3 が肝癌分子標的治療の候補となり得ることが示唆された。</p>			
<p>以上のように本論文は、肝癌の治療に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			